

# 国際交流員ザブリーナ・リンのコラム

## 聖マルティヌスの日 (Martinstag)



### ガチョウのせいぞろい

皆さん紅葉はもう見ましたか？すっかり秋の季節ですね。

ドイツでは、11月は暗く寒い季節の始まりです。今日は、冬の始まりを告げる日である11月11日の聖マルティヌスの日 (Martinstag) と聖マルティヌスの行列 (Martinszug) についてお話しします。

その前に、聖マルティンについてお話ししましょう。聖マルティンは、ローマ帝国の兵役についていた頃、雪の中で凍えていた物を乞いに自らのマントを半分裂いて与えました。兵役終了後、洗礼を受け修道士となったマルティンは、とても無欲で市民からの人気があったので、司教になってほしいと依頼されました。しかし、その気になれなかったマルティンは、教会からの使いに見つからないようにガチョウ小屋に隠れていました。ところが、小屋にいたガチョウが騒ぎ



マルティンス・ブレッツェル

は昔、11月11日頃は税の徴収日にあたりましたが、当時は農作物での納税も可能だったので、ガチョウで税金を納める人も多かったといふことからです。このような理由が重なるようになって、現在でもガチョウを食べる習慣が続いています。

### 子ども達の行列

聖マルティヌスの日の行事として、子供たちは聖マルティンの行列をします。一人ひとりランタンに火をともし、歌いながら教会まで歩きます。ランタンは市販のものもありますが、幼稚園や学校の授業で作る子どもも多いです。行列のときに、ちよつとした劇みたいなものもあって、馬に乗るローマ兵士の聖マルティン役が、雪の中で凍える物を乞いに自らのマントを裂いて与えるという言い伝えを再現します。行列が終わると、子どもたちはお菓子をもらいます。地方によってどんなお菓子か違うと思いますが、出身地のザウアーラント地方だと、「マルティヌス・ブレッツェル」(Martinsbrezel) という甘いイースト生地のパレッツェルで、あられ糖がかかっています。あとは、この時期はパン屋さんでは期間限定で「シュトゥーテンケール」(Stutenkerl) というレーズン入りのイースト生地できたお菓子も売られています。両方ともとても美味しいですよ！この記事を書いていてとても懐かしく感じてしまいました！



シュトゥーテンケール

### 今月の国際交流イベント

詳しくは「くらしの情報」の「イベント」34ページでご案内します。ぜひお越しください。

#### ■「アドベントカレンダー作り」

・11月11日(日)  
・午後5時15時～  
ドイツの「アドベントカレンダー」を作ってみませんか？

#### ■「エネルギー問題に関する市民意見交換会とクリスマス会」について

・12月1日(土)  
・午前10時～  
多くの皆さんのアイデアを発表する場を企画しました。

#### ■国際交流協会のクリスマス会

・12月1日(土)  
・午後1時～  
ドイツ料理とビール等を飲みながら、楽しいクリスマス会を過ごしましょう！



携帯電話  
市ホームページ



#### ■人口と世帯 (10月1日現在)

人口 / 60,240人 (-28)、男性 / 29,984人 (-11)、女性 / 30,256人 (-17)、世帯数 / 22,010世帯 (-6)

**TAKE FREE**

広報しもつけを設置協力いただけるコンビニエンスストアを募集しています。ご協力いただける場合は総合政策課 ☎ 0285 (40) 5550 情報広報グループまでご連絡ください。